



いずみこども園
ホームページ
QRコード

令和7年6月30日
千代田区立いずみこども園
園長 穴原 江美

【教育目標】 元気な子ども やさしい子ども ☆考える子ども

地域で地域の子どもを育てる

園長 穴原 江美

毎日、真夏日のような暑さが続いています。西日本ではすでに梅雨明けし、関東でも間もなく梅雨が明けるでしょうか。これから夏本番、今年も猛暑が続きそうです。体調に十分留意して、元気に夏を過ごしましょう。

さて、【千代田区 子育て・教育ビジョン】の基本理念には、『子どもの健やかな育ちをまち全体で支え、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす』とあります。本園の経営方針では、この理念を受け、『地域で地域の子どもを育てる』ことを方針の一つとしています。

地域で地域の子どもを育てるための具体的な手立てとして、地域の教育力を生かした【特色ある教育活動】があります。

先日は、5歳児親子を対象に『生け花体験』を実施しました。東神田にある古流理恩会 家元 宇田川理翁先生のご指導のもと、5歳児が生け花を体験し、その様子を保護者の方に参観してもらいました。

生け花を体験する中で、四季折々の花や木々について知り、花を大切に扱うことで自然を大切にする気持ちを育んでいきます。花に触れながら色や匂い、感触など五感を働かせたり、茎の長さや花の向きを考えたり工夫したりなど、様々な体験や学びができました。

子どもたちの体験後は、参観した保護者の皆様と先生たちで、『みんなで生け花』を行い、一つの生け花作品を仕上げました。玄関ホールに飾られた生け花の作品は、園の子どもたちや保護者、来園する方々の目を楽しませていました。

この生け花体験では、地域人材を活用し伝統文化を学ぶとともに、保護者の方が参加することで、園の保育・教育活動への理解を深め、子どもの成長を共に感じる機会にもなっています。参加された保護者の方は、我が子の様子や作品を見るだけでなく、クラスの子どもたちの様子も気にかけて、声をかけている姿がありました。このことが、園の保育・教育活動への参画であり、『地域で地域の子どもを育てる』ことにもつながっています。

また2歳児では、保護者会後に、親子での触れ合い遊び『一緒に遊ぼう』を行いました。全国国公立幼稚園・こども園長会が昨年度実施した触れ合い遊びに関するアンケートでは、「触れ合い遊びの大切さは分かっているけど、時間や機会がない」ということが分かりました。園で親子での触れ合い遊びを取り入れることは、保護者が触れ合い遊びの楽しさを感じ、家庭でも楽しんでもらえるようにするとともに、クラスの友達親子同士と一緒に楽しさを共有する機会になります。このことは、やはり地域の子どもを育てることにつながります。

7月には4歳児での親子造形活動があります。我が子との関わりを楽しむのはもちろん、ぜひクラスの子どもたちの様子にも目を向けてみてください。

夏の間には、各町会での縁日や盆踊り、ラジオ体操などが行われます。子どもたちが地域に出かけることも多くなることでしょう。保護者の方も地域の一員として、地域の皆様とともに、地域の子どもたちを見守り、育んでいきましょう。

